

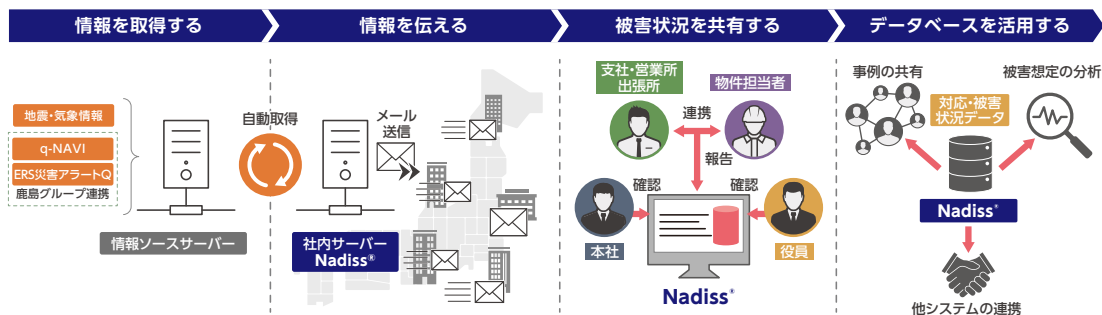
# 01

## 自然災害時の迅速対応

### Nadiss® (ナディス)

(Natural Disaster Information Sharing System)

当社が開発した独自システムを用いて、自然災害発生時の災害情報を鹿島建物の管理担当者にメールで自動発信します。その後の対応状況を登録することで、社内でのタイムリーな情報共有を実現します。このシステムにより、適切な判断と迅速な災害対応が可能となり、建物に関わる人々の安全を確保するとともに、管理品質の向上を図ります。



#### Point

- 情報発信の自動化**  
災害発生地域にメールを自動配信
- リアルタイム共有**  
全国の災害対応状況をリアルタイムに共有
- 情報の見える化**  
災害対応状況を地図・グラフで表示
- 鹿島グループ連携**  
各社の保有するBCPツールと連携



A screenshot of the Nadiss system interface displaying a table with columns for disaster type, location, status, and other relevant information.



ハザードマップを表示し、災害対策に活用



NadissxERS災害アラートQを連携

包括施設管理における防災対応力向上

## 02

## DXによる付加価値の創出

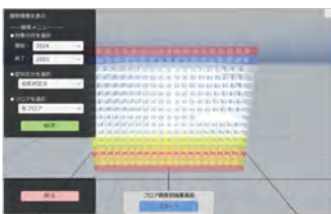
### DX推進によるビジネスモデル変革

デジタル技術を活用し、業務の効率化・高度化を推進しています。省人化（遠隔監視）に向けたデータ活用や、LCC（ライフサイクルコスト）マネジメントに向けたAIアプリの開発などで、業務の改善と新たな価値創造を目指しています。

#### 省人化（遠隔監視）に向けたデータ活用

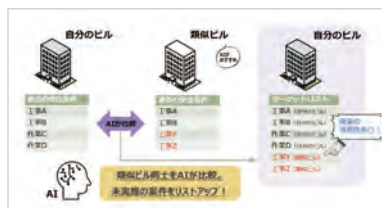
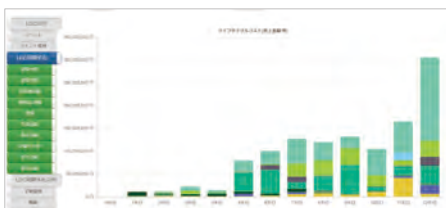


建物の基本情報が集約された建物台帳をベースに、自物件の過去の情報や他物件の情報、一般情報も含めたデータを活用しています。このデータを利用することで、効率的な作業の実施や、的確な支援を行うことができ、作業の効率化や属人化解消、支援の質の向上が期待できます。



#### LCCマネジメントに向けたデータ活用

建物の基本情報が把握できる建物台帳をベースに、過去修繕実施状況や、鹿島建設の中長期修繕計画データを活用しています。このデータを利用することで予防保全提案を行うことができ、計画的な管理や運用効率の向上が期待できます。LCCマネジメントに向けたデータ活用は試行段階のため、今後も完成度を高めていきます。



## 03

## 高効率な建物管理システム

### 建物情報のデータベース化・見える化

鹿島建物の CAFM は、点検結果や不具合情報をデータベース化し、一元的に管理・活用する業務システムです。蓄積された情報を分析・活用し、高品質な建物管理サービスを提供しています。鹿島建設と鹿島建物がそれぞれの専門知識を活かし、共同で開発に携わったため、各マスター情報が早い段階から整理されており、全社規模での業務管理や集計がスムーズに行えます。



#### データの入力・蓄積

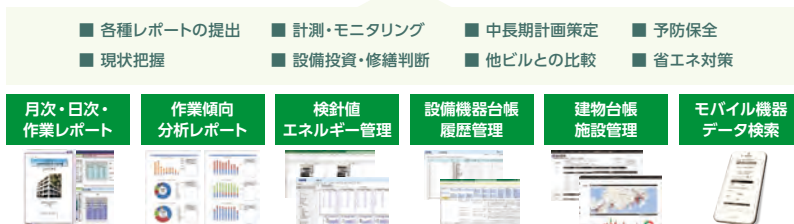
建物に関する情報に変化があった時に即入力。管理データを一元化して蓄積する。



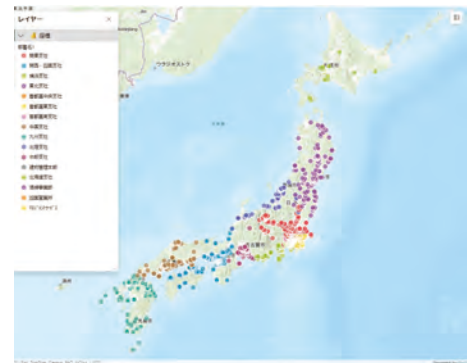
CAFM:  
Computer-Aided  
Facility Management

#### データの分析・活用

建物の現状把握から将来予測まで、目的に合わせてデータを分析・活用。  
建物自体の資産価値向上や、設備保守業務の効率化などに利用する。



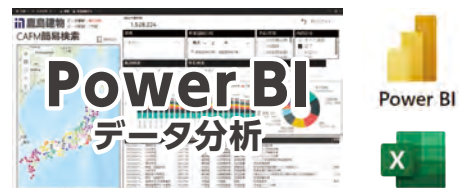
#### 管理実績 2,700 棟以上



#### 建物管理プラットフォーム



#### データ分析プラットフォーム



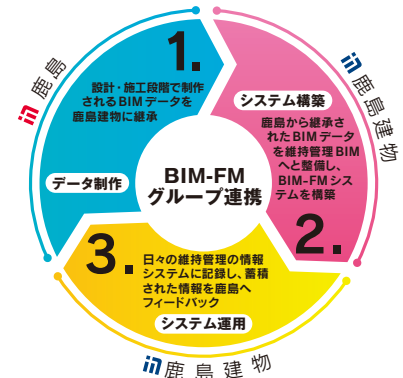


# 04

## BIM が導く先進管理

### LCCの圧縮でお客様のビル運営をサポート

鹿島グループでは BIM データをベースに、お客様の建物のライフサイクルをデジタルで管理する環境を整えており、高度管理による建物の長寿命化に寄与します。



#### 2つのBIMソリューションで先進的管理を実現

##### 1 BIM-FMシステム



空間や設備、建具などの BIM データと管理情報を紐づけ、合理的にお客様の資産を管理する「BIM-FMシステム」で、先進的管理手法によりお客様の建物の LCC 削減と長寿命化につながる管理を展開します。

##### 2 ARアプリ (EQ-projection)

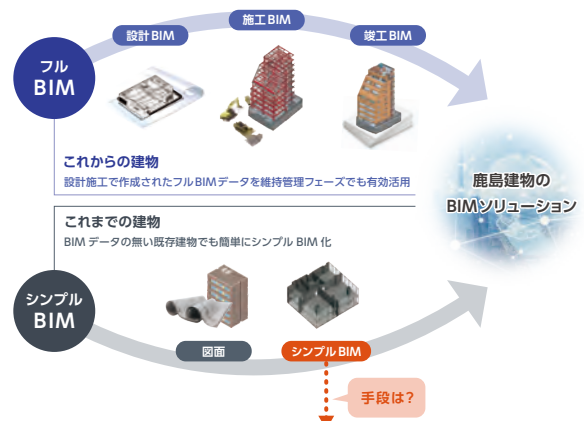


AR アプリで実現する、BIM データと現実空間の融合による空間情報共有



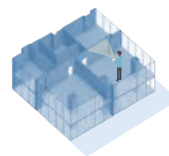
AR 注意喚起を投影し危険箇所を事前に知らせ、安全な現場づくりを実施

#### 「これからの建物」と「これまでの建物」



#### 既存物件でもスキャンングでシンプル BIM を簡単に作成可能！

紙の図面しかない既存物件でも  
スキャンングでシンプル BIM を作成できます！  
※ iPad で簡単にデジタル図面を 0 から作成できます



CAD・PDF 図面がある既存物件なら  
さらに  
自動化した仕組みで、より簡単に  
シンプル BIM を作成できます！  
※ スキャンングは不要です

